

みんなの森 通信

Vol. 45



2026年9月発行

社会福祉法人 みんなの森福祉会
理事長 大嶋 弘之

ホームページに
ジャンプできます



どんぐり保育園 浜松市中央区中郡町 1872 TEL 053-433-5330
くすのき保育園 浜松市浜名区高畑 897 TEL 053-589-3340
まつのき保育園 浜松市中央区西伊場町 7-5 TEL 053-488-6166
小規模保育事業所 みかんの家 浜松市中央区西伊場町 7-4 TEL 053-488-6167
児童発達支援事業所 「ころころ」 浜松市中央区中郡町 1802-2 TEL 053-424-6262
児童発達支援事業所 「ころころ伊場」 浜松市中央区西伊場町 7-5 TEL 053-488-6169

法人憲法研修 子どもたちに平和な社会を

みんなの森福祉会では2016年から毎年全職種、全職員対象の憲法研修を毎年続けています。当時集団的自衛権が行使されるようになり、全国的に「9条の会」が広がり、職員の中から憲法を学ぼうとの声が上がりました。講師は法人役員で元教師の中村先生です。その時々、社会や政治の状況を憲法の条文とどうつながっているか解説していただき、その後グループ討議をします。政治と憲法が身近になると、毎回好評です。

今回は「公布80年、日本国憲法をめぐるせめぎあい」と題して①アメリカのイラン攻撃による私たちの生活への影響 ②憲法9条改正が生活に与える影響 ③生活が憲法により守られていることの再確認 を柱にお話しをしていただきました。「憲法を守り生かすことの大切さを周りに広めることで、戦争を防ぎ平和な日本と世界を実現できる。今が頑張り時。」と締めくくられました。

〔職員の感想〕

- ・憲法は権力者（政府）の暴走を国民が縛るためのものだとして初めて知った。
- ・憲法の中に請願権があるから、保育の要求を請願書名で国に訴えられると分かった。
- ・今までの憲法研修の中で今年が一番戦争に近づいていると感じ、恐怖を覚えた。
- ・戦争をしない日本が武器を輸出する国になってしまい、戦争に加担することになる。
- ・公務員が予備自衛官に登録されるなど、身近な人がそうなると思う。
- ・若者の反戦デモが広がっているのは、戦争の悲惨さを語り継いできたから。頼もしい。
- ・子どもには話し合いで問題を解決する力をつけることが、保育でできる平和教育。
- ・家族や子どもと政治の事を話し合ってみた。意見は違ったが尊重しあうことが大事。

戦争の苦しみ後に築きあげられた日本国憲法を、子どもの命を守る職務の私たちがしっかり身につけなければと思います。子どもたちの健やかな成長は平和あってこそですから。

2025年度社会福祉法人みんなの森福祉会決算報告

●資金収支計算表

(円)

勘定科目		合計
事業活動による収支	収入	744,777,992
	支出	640,083,989
	収支差額	104,694,003
施設整備等による収支	収入	3,036,776
	支出	53,764,777
	収支差額	-50,728,001
その他の活動による収支	収入	10,028,600
	支出	49,406,400
	収支差額	-39,377,800
当期資金収支差額合計		14,588,202
前期末支払資金残高		127,127,325
当期末支払資金残高		141,715,527

●貸借対照表

(円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	154,331,282	流動負債	67,996,877
固定資産	1,062,086,608	固定負債	399,774,885
		負債の部合計	467,771,762
		純資産の部	
		基本金	25,548,273
		国庫補助金等特別積立金	224,821,793
		その他の積立金	198,292,000
		次期繰越活動収支差額	299,984,062
		純資産の部合計	748,646,128
資産の部合計	1,216,417,890	負債及び純資産の合計	1,216,417,890

法人役員のご紹介 2026年6月に役員の改選をしました

理 事		評 議 員			
大嶋 弘之 中道 律子 岩室 よね子 袴田 祐子 加藤 朋子 竹内 映晴 平野 愛 太田 みさえ	理事長 児発ころころ伊場 管理者 元・どんぐり保育園 園長 児発ころころ 管理者 みかんの家 管理者 まつのき保育園 園長 どんぐり保育園 園長 くすのき保育園 園長	大野木 龍太郎 小木 充 馬塚 晴之 鈴木 光一 天野 嘉章	元・大学教授 静岡大学教育学部 非常勤講師 くすのき保育園 保護者 県立高校・校長 元・万斛東民生委員 万斛東民生委員 西美蘭中 自治会長	奥田 一雄 馬場 寛人 渥美 風真 加藤 静	西伊場町 自治会長 どんぐり保育園 父母と職員の会 会長 くすのき保育園 父母と職員の会 会長 まつのき保育園 父母と職員の会 会長
監事・第三者委員		評議員選任・解任委員			
中村 正伸 知久 幹夫	元・中学校教諭 元・静岡県技術職 獣医師	中村 正伸 大石 志保 富田 守信	監事・第三者委員 くすのき保育園 事務主任 元・どんぐり保育園 父母と職員の会 会長		

心も身体も満たされる食育活動に・・・

季節に応じて様々な野菜が栽培・収穫できるよう、どの施設も身近な環境の中に畑があり、日常的に食育活動を行っています。畑で採れた野菜のクッキングはもちろん、それ以外にも生の魚に触れて自分の手でさばいて焼いて食べるおさかなクッキングや梅シロップ、味噌づくりは毎年のこと。今年は甘夏ジャムづくりや煮干しを使ったふりかけ作り、シソの葉を干してすり鉢で細かくした「ゆかり」づくりなど0歳児から年齢に合わせた様々なクッキングを楽しんでいます。



【くすのき保育園 クッキング風景】

年中児の甘夏のジャムづくりではまず甘夏の皮をむき食べてみることから始めますが、皮が厚いので簡単ではありません。5本の指を使い、力を入れながら一生懸命むいていきます。やっと出てきた白い房から次は果肉だけ取る作業も子どもたちの手で。むいた果肉を先ず食べてみると「すっぱい!」。そこで甘くしようと砂糖を入れる。そこからジャム作りへと話が盛り上がっていききました。甘夏と砂糖を煮詰めているとオレンジ色だった甘夏が「なんかちゃいらくなったね」と色が変化し「あまいにおいがしてきた」と。一つの食材も調理の過程で様々な形や色、味の変化に気づきます。ジャムは翌日給食のパンに塗って食べましたが、パンが苦手でご飯しか食べなかった子がこのジャムを塗ることで初めてパンを口にすることができました。余程嬉しかったのか、他のクラスの先生にも「ぱん、たべれたよ」と報告に行き、みんなに「美味しく食べれてよかったね」と声をかけてもらっていました。

また、野菜だけでなく高野豆腐などの変化のある食材も使い、手で触れる感触を味わいながら匂いを嗅いだり、削ったり、お湯に浸した豆腐を絞ってちぎり、砂糖醤油で味付けし、みんなで美味しく食べました。

こうしたクッキング活動は食材を観ることから始まり、実際に触れることで硬さや柔らかさなどの感触を感じ、どんな匂いがするのかその匂いは調理過程でどう変化していくのかを知り、実際に食べて味わうなど、自然に五感を働かせています。その経験を一人ではなく、安心できる大人や仲間と一緒にすること、そして仲間と会話をしながら楽しく食事をする中で、食べる意欲につながっていくのです。ころころやころころ伊場子どもたちの中には過敏性があり偏食の激しいお子さんもいますが栽培やミニクッキングで、食域が広がっています。



【ころころ クッキング風景】

心が豊かに育つ要素が多く含まれる食育。食べることは生きること。生きる力の源「食」を楽しみに感じることができる、そんな経験を乳幼児期に大切に位置づけていきたいです。

2026年1月～8月意見・要望・苦情報告

- どんぐり保育園、くすのき保育園、まつのき保育園、小規模保育事業所みかんの家
意見・要望・苦情ともにありませんでした。
- 児童発達支援事業所「ころころ」、「ころころ伊場」
意見・要望・苦情ともにありませんでした。